

**2018年 2月改訂 第9版
*2011年 2月改訂
薬効分類 漢方製剤

5

日本標準商品分類番号875200

承認番号等
(61AMY)0398 (薬価基準収載)
薬価収載 1986.10 販売開始 1987.01

〔東洋〕温清飲 エキス細粒

【組成】

本剤は、温清飲の水製エキスに賦形剤(トウモロコシデンプン)を加えて製したものである。

本剤6.0g中

日局トウキ・・・3.0g 日局オウレン・・・1.5g
日局ジオウ・・・3.0g 日局オウゴン・・・1.5g
日局シャクヤク・・・3.0g 日局サンシシ・・・1.5g
日局センキュウ・・・3.0g 日局オウバク・・・1.5g

上記の混合生薬より抽出した温清飲の水製エキス3.6gを含有する。

【性状】

本品は、褐色の細粒で特異なおいと味を有する。(天然原料を使用するため、色調、味、においがロットにより若干異なることがあります。)

医薬品識別コード: TY-005

【効能・効果】

皮膚の色つやが悪く、のぼせるものの次の諸症:
月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、神経症

【用法・用量】

通常 大人 1日 3回 1回 2.0g(1包)を空腹時経口投与
年齢症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

1) 著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることがある。]
2) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

**2) サンシシ含有製剤の長期投与(多くは5年以上)により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合にあっては、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。

3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1) 重大な副作用

*①間質性肺炎:発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

②肝機能障害、黄疸:AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

**③腸間膜静脈硬化症:長期投与により、腸間膜静脈硬化症があらわれることがある。腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返された場合、又は便潜血陽性になった場合には投与を中止し、CT、大腸内視鏡等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと。なお、腸管切除術に至った症例も報告されている。

2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 注1)	発疹、発赤等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等

注1) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]

【取扱い上の注意】

薬の品質を保つため、直射日光を避け、できるだけ湿気の少ない涼しいところに保管してください。

【包装】

500g, 2.0g×252包(分包品)

【参考】

原典:万病回春

参考文献:「漢方診療医典」大塚敬節・矢数道明・清水藤太郎共著

「漢方処方応用の実際」山田光胤著

「漢方診療の実際」大塚敬節・矢数道明・清水藤太郎共著

*【文献請求先】

製造販売元 株式会社 東洋薬行

〒113-0033 東京都文京区本郷6-19-7

TEL 03-3813-2263 FAX 03-3813-0202

株式会社東洋薬行

東京都文京区本郷6-19-7